

2月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園
令和4年2月1日

三寒四温の季節となりました。

先日、鏡開きをしたおもちを調理室で揚げて無病息災を願いながら給食でいただきました。そして、2月3日は節分です。冬と春の区切りとされ、翌日は立春となります。昔は立春をお正月とし、お正月の前日に無病息災、五穀豊穰、邪気を払う行事として豆まきが全国の神社などで行われ、今も続けられているところが多くあります。また、一般家庭でも行われるようになり、各ご家庭の門口(玄関先)に豆がらに柊の葉と鰯をつけて「鬼除けのまじない」を飾りました。柊のトゲ、鰯の匂いは鬼の大嫌いなものとして、こども園でも節分の日には、玄関やホール、教室の入り口に飾り、鬼除けをします。そして、大きな声で「福は内」「鬼は外」と豆まきを楽しみ、今年も病気をせず元気に過ごせますようにと祈願したいと思います。昨年より消費者庁より「食品による子どもの窒息・誤嚥事故」についての通達がありましたので、園だよりのお知らせの通りとさせていただきます。ニュースでもご存じかと思いますが、ご家庭でもお気をつけください。園では、鬼のお面とつちの箱を持ち帰りますので、是非ご家庭でも日本の伝統行事をお子様とご一緒にお楽しみください。

また新年明け、さくら組で幼小連携の一環で中央台北小学校へ行ってきました。今年は感染予防対策として学校周辺だけを散策させていただきました。玄関前に到着すると、総合的な学習の時間で、1年生が手作りの凧揚げに行くところでした。「園長せんせ～」と気付いた卒園生が手を振りながら走り寄ってきて、次々と声をかけてきてくれました。皆、生き生きと明るい笑顔で楽しそうに学校生活を送り、元気そうで何よりでした。学校でも、こども園同様、日本の伝統行事を継承していることに大変嬉しく思いました。4月からの学校生活が楽しみです。

さて、福島県では1月27日より感染拡大を懸念し、まん延防止等重点措置が適応されました。園では、ばら・すみれ・さくら組さんは、一年の締めくくりの行事わくわくキッズコンサートに向けて取り組んでいます。お部屋や廊下では、「ミ・レ・ラ～、ラドシソドレド～♪♪」と、自然にお友だちと口ずさんでいる歌声が聞かれ微笑ましい限りです。鍵盤ハーモニカの練習が終わるとマウスピースを消毒して乾かすなど、衛生・安全に注意を払っています。現在のところコンサートは、クラスごとで、フェイスシールドを着用し、観覧者の人数制限や感染対策を徹底して、昨年度同様できる方法を考慮しながら、発表につなげて参りたいと思っております。また、もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組さんも、衛生管理に留意しながら、お天気の良い日は戸外遊びで健康な体作りをしたり、歌や楽器遊びを楽しみながら豊かな感性を育てています。まだまだ予断を許さない状況ですので、お子様の体調が優れない時は無理をなさらないなど、保護者の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。